

4年ぶりのGP出場が見えた！
松井繁が同一周年7度目のV



津

9/6～11

GI

ツッキー王座決定戦



初日ドリームは毒島誠、2日目ドリームは井口佳典がともに逃げ切ってシリーズの中心となるかと思われたが、意外な苦戦を強いられた。井口は予選突破も準優5号艇とぎりぎりの進出。毒島に至っては負傷帰郷に…。3日目までは宮地元輝がトップを走ったが、4日目に覚醒したのが松井繁。初勝利を挙げその日を連勝とし、一気に得点率を制圧した。準優、優勝戦とイン逃げを連発して現役最多となる144回目の優勝。GIは通算60回目、津ボートの周年は7回目の制覇。これは41年前に松尾泰宏さんからつボートで打ち立てた同一レース周年最多V記録に並ぶ快挙。来年あつせんが入れば、記録更新のチャンスとなる。獲得賞金額も戦前の16位から13位へ上げ、4年ぶりのグランプリ出場が現実味を帯びてきた。

シリーズ展開

現場記者の目

松井繁の組み立てというか、6日間に渡るレース運びといえはいいのか？ 外枠では大崩れを防ぎ好枠戦で一気に勝ち星を積み上げる強さはさすがだった。3日目まで未勝利だった姿に優勝を感じさせる雰囲気は見られなかったが、上位陣が崩れはじめ流れが変わった瞬間、シリーズを掌握したうまさ。すべて計算ずくと感じるのは、『松井繁』というブランドがそう思わせるのかもしれない。準優勝に終わった松尾充だが、大健闘と言えるだろう。シニアのGI戦で初めでの予選突破。連日ゼロ台を攻めた強心臓は、今後の活躍を予感させるもの。優勝戦では宮之原輝紀が残念なFに散った。F休み明け後の一年間は、GII・GI戦から除外。残念でならない。
(中日スポーツ高橋亮考)

着	人気	艇番	選手名	年齢	支部	今回成績	進入	ST
1	◎	①	松井 繁	54	大阪	22342111	1	07
2	○	②	松尾 充	36	三重	23511111	2	05
3	△	③	磯部 誠	33	愛知	24221421	3	09
4		⑥	上條 暢嵩	30	大阪	2262412	6	10
5		⑤	宮地 元輝	37	佐賀	3114522	5	04
F	×	④	宮之原輝紀	26	東京	3113612	4	+01
2連単		①-②	240円	1番人気	逃げ			
3連単		①-②-③	550円	1番人気				

予選6位からの下剋上！
丸野一樹がクラシック出場権獲得



三国

9/2～7

GII

モーターボート大賞



初日の日本海ドリームは地元今垣光太郎が、2日目の東尋坊ドリームは土屋智則が人気に依っての勝利。流れを崩さず、順当に準優の1枠を手にするも、それを上回る活躍を見せたのが柴田光。シリーズのオープンングレースをまくって制し、その勢いを維持したまま、予選トップ通過を決めた。準優は波乱の連続…。今垣と土屋は共に2着、柴田に至ってはまさかのフライングに散った。優勝戦1枠は丸野一樹が手にして、竹田和哉、武田光史、土屋、今垣、海野康志郎が顔を揃えた。戦前からコース取りに注目が集まった優勝戦。本番で動いた今垣。4コースと5コースの艇番入れ替わりの4対2。スタートは劣勢もイン先マイした丸野が、武田のまくりと土屋のまくり差しを凌ぎ、逃げて優勝を飾った。

シリーズ展開

現場記者の目

「巡って来たチャンスをつかんで帰ります！」予選6位だった丸野が1号艇を獲得し、気合の言葉を残して挑んだ優勝戦。「久しぶりのGIIの優勝戦。1号艇で、緊張していました」とレース後に話すも、道中の走りは冷静で、キツチリと優勝をモノにした。「この2月の一般戦、3月の尼崎のGIIも優勝戦で負け、前節もフライングを切り：殻を破るためにも今回は絶対に勝ちたかった」という思いが走り表れた形だ。今回の優勝で来年のSGクラシックの優先出場権を獲得したが、「同期の片橋幸貴が江戸川でGII初制覇して、連絡を取って、自分も頑張ると伝えていたので、一緒にクラシックに行けるのは嬉しい」と同期愛も口にした。この後GI戦線が続く丸野の皮むけた姿に期待だ。
(実況アナ・高橋敬亮)

着	人気	艇番	選手名	年齢	支部	今回成績	進入	ST
1	◎	①	丸野 一樹	33	滋賀	5112421	1	19
2	○	④	土屋 智則	39	群馬	4411212	5	07
3		⑤	今垣光太郎	54	福井	1122632	4	21
4	△	③	武田 光史	50	福井	2351621	3	14
5		⑥	海野康志郎	36	山口	5232412	6	10
6	×	②	竹田 和哉	30	香川	2214341	2	19
2連単		①-④	430円	1番人気	逃げ			
3連単		①-④-⑤	1440円	5番人気				

深井利寿が12年ぶりGI制覇！
超抜パワーで強豪をねじ伏せた



びわこ

9/12～17

GI

びわこ大賞



シリーズ展開

ゴールデンレーサー（GR）6人による初日DR戦は地元・馬場貴也が逃げ切り勝ち。2日目DR戦も石野貴之がGRの貫禄を示すように白星を飾った。しかし、強豪レーサーを抑え、得点率首位の座を手にしたのが深井利寿だ。初日は6コース、2日目は5コースから勝利を収め、それ以降も3連対をキープ。2連対率はわずかに20.7%ながら、8月の中間整備で急変した59号機は成績通りの超抜パワーを誇る。2位は馬場で3位は篠崎元志。GRの面々は馬場、篠崎に加えて峰竜太、平本真之、石野、白井英治もベスト18入り。丸野一樹、守田俊介、木村仁紀、吉川喜継、是澤孝宏ら地元勢も予選をクリアするなど地元勢の奮戦も光った。準備はすべて1号艇が逃げ切り勝ち。丸野、守田、白井が2着でファイナルに駒を進めた。

現場記者の目

優勝戦のコース取りが注目された6号艇・白井は大外を選択。ファイナルは枠なり3対3から、コンマ08の好Sを決めた深井がイン先マイへ。1M、2Mをともに全速戦で迫る篠崎を振り切り、ファンの大声援を浴びながらVゴールを駆け抜けた。深井は2012年6月の児島60周年以来、12年ぶり2回目のGI V。「本場に最高です」と、地元周年タイトル獲得に喜びを爆発させた。同日に宮島でVを飾った愛弟子・遠藤エミも含め今や一大勢力となった滋賀支部。今年で50歳のベテランが健在ぶりを見せつける形となった。

また、優出組では深井以外にも丸野の33号機や守田の37号機も中間整備でエース級に変貌したモーター。ともに2連対率は30%台だが10月のGII戦でも注目だろう。

（クラ）

着	人気	艇番	選手名	年齢	支部	今回成績	進人	ST
1	◎	①	深井 利寿	50	滋賀	112231	1	08
2	△	③	篠崎 元志	38	福岡	4214111	3	15
3	○	②	馬場 貴也	40	滋賀	1312321	2	13
4		⑥	白井 英治	47	山口	5441322	6	09
5		⑤	守田 俊介	49	滋賀	2112332	5	06
6	×	④	丸野 一樹	33	滋賀	2262112	4	15
2連単			①-③	690円	3番人気	逃げ		
3連単			①-③-②	1730円	5番人気			



渡邊優美



高田ひかる



大瀧明日香



倉持莉々

マクール杯 ～ヴィーナスシリーズ第15戦～

in 蒲郡

10月20日(日)～25日(金)



蒲郡で行われるヴィーナスシリーズ、正式名称は「ガマポ2周年記念マクール杯争奪 ヴィーナスシリーズ第15戦 ムーンライトプリンセス決定戦」。ということで、蒲郡ムーンライトポイントクラブ2周年を記念して開催される今大会、実力派女子レーサーが集結した。たくさん舟券を買って、ガマポを貯めよう！

今開催
注目
ポイント!

●出場予定選手 (24.5.1～9.26)

印	選手名	級	勝率	印	選手名	級	勝率
×	日高逸子	A2	5.89		大石真央	B1	4.54
△	中谷朋子	A2	6.44		高憧四季	A2	5.21
△	大瀧明日香	A2	6.33		金子七海	B2	2.68
	佐々木裕美	A2	5.73		福山恵里奈	B1	4.19
▲	宇野弥生	A2	5.84	穴	山口真喜子	B1	5.70
×	松本晶恵	A2	5.99	穴	野田彩加	B1	5.83
	加藤奈月	B1	4.13		坂野さくら	B1	4.56
	大澤真菜	B1	3.91		宮崎安娜	B1	3.71
	原加央理	B1	5.25		北村寧々	B1	4.22
△	川野芽唯	A1	6.68		奥村明日香	B1	4.35
◎	平高奈菜	A2	6.63		湯浅紀香	B1	5.24
○	小野生奈	A1	6.28		石丸小楨	B2	3.60
○	渡邊優美	A1	6.99		川原愛未	B1	3.10
	今井美亜	A2	5.88		石原風紗	B1	2.56
×	水野望美	B1	5.97	穴	門田 彩	B1	4.77
	豊田 結	B2	0.00		嶋田有里	B1	2.84
	伊藤玲奈	B1	4.68		羽田妃希	B1	3.33
◎	高田ひかる	A2	6.71		滝沢織寧	B1	2.63
注	倉持莉々	B2	0.00		三嵩こころ	B2	2.50
	前原 哉	B1	4.69		長尾萌加	B1	2.82
×	勝浦真帆	A1	5.90		岩崎麗子	B2	1.15
注	関野 文	B1	6.24		井澤聖奈	B2	1.18
	平川香織	A2	5.10				

- 主力は渡邊優美、高田ひかる、平高奈菜、川野芽唯、小野生奈、中谷朋子。渡邊はF2で苦しい期末を迎えているが、地力は最上位。高田は伸び勝負を封印することもある近況だが、調子そのものは上々だ。
- 地元からは大瀧明日香、宇野弥生、水野望美らが登場。安定感光る大瀧は舟券には欠かせない存在。好不調の波がある宇野だが、波に乗ると優勝まで突っ走る。
- 期末の勝負駆けが気になるころ。A1級勝負は大瀧、小野、関野文。A2級勝負は原加央理、湯浅紀香、高憧四季など。
- 倉持莉々が復帰2節目（1節目は10月11日～平和島）。久々の女子戦でいきなり存在感を発揮するか。